

病害ソリューションシート –シンジェンタからのおすすめ防除提案–

ダラースポット病かな？と思って薬剤を散布してみたけど効果がイマイチ。実際にダラースポット病だったりすることもあります、実は類似したスポット病害だったりすることがあります。

ベントグリーンにおけるスポット病害(ドレクスレラ属菌による葉枯病、ダ 訂正ラースポット病、カッパースポット、ベントグラスデッドスポット病)

発生時期と防除タイミング・年間ローテーションの提案

- 平地における発生の場合

病害	3			4			5			6			7			8			9			10			11					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
ドレクスレラ属菌による葉枯病																														
ダラースポット病																														
カッパースポット																														
ベントグラスデッドスポット病																														



*ドレクスレラ属菌による葉枯病、ベントグラスデッドスポット病、カッパースポットに対する登録薬剤がないため、ここではダラースポット病に対するお薦め薬剤ローテーションを記載しています

■ : 発病期
■ : 発病盛期

表-1. 現場での見分け方

- 菌糸が浮く → ダラースポット病
 - 菌糸が浮かない
 - スポットがパッチ状に集まっている → ドレクスレラ属菌による葉枯病
 - スポットは単独 → ドレクスレラ属菌による葉枯病
 - パッチが赤い
 - 輪郭部が鮮明 → デッドスポット病
 - 輪郭部が不鮮明 → カッパースポット
- 顕微鏡チェックが無難



の



芝生用殺菌剤ローテーション資料

芝生用殺菌剤	EBI剤	メキシ アクリ レート系	ベンゾイ ミダゾ ール系	ジカルボ キシイミ ド系	フェニル アמיד 系	抗生物 質殺菌 剤	酸アミド 系	グアニジ ン系	有機リン 系	接触型 殺菌剤	ダラー スポッ ト病
製品名	ステロ ール生 成阻害	呼吸阻 害	有糸核 分裂阻 害	胞子発 芽・菌糸 伸長抑 制	RNA生 合成阻 害	キチン合 成酵素 阻害	呼吸阻 害	膜脂質 破壊	リン脂質 合成阻 害ほか	保護作 用	
アグディー水和剤	ミクロブタニル							イミノクタジン	ジアルベシル酸塩		●
エメラルドDG							ボスカリド				●
カシマン液剤								イミノクタジン	酢酸塩		●
グラコン水和剤			チオファネートメチル						ホセチル		●
クリアパッチDF	トリフルミゾール										●
シバンパフロアブル	シプロコ		アゾキシストロビン								●
シャルマツ水和剤			ベノミル				メプロニル				●
芝美人フロアブル	メコナゾール										●
ダイパフロアブル	ジフェノコ		アゾキシストロビン								●
タフシーパフロアブル	テブコナゾール									ペンシクロ	●
ツインサイドDF	イミベンコナゾール										●
トップグラスドライフロアブル			チオファネートメチル								●
トップティ水和剤	トリフルミゾール		チオファネートメチル								●
トップバスター顆粒水和剤	メコナゾール		チオファネートメチル								●
トライアンフ水和剤	プロピコナゾール						フルトラニル				●
バイコラル水和剤	ビテルタノール										●
パシパッチ水和剤	プロピコナゾール						メプロニル				●
パッチコロン水和剤	シメコナゾール										●
パッチバスター				イフロジオン				イミノクタジン	酢酸塩		●
パナーマックス液剤	プロピコナゾール										●
ブラウザー水和剤	プロピコナゾール				メタラキシル		フルトラニル				●
ブルーデンス水和剤				イフロジオン					ホセチル		●
ポディーブロー水和剤						ポリオキシンD	亜鉛	イミノクタジン	ジアルベシル酸塩		●
ボンジョルノ乳剤	テトラコナゾール										●
マネージ乳剤	イミベンコナゾール										●
モノクタジンフロアブル							メプロニル	イミノクタジン	酢酸塩		●
ラー水和剤	ミクロブタニル										●
緑化用ベンレート水和剤			ベノミル								●
ロブラール水和剤				イフロジオン							●
ワンオン水和剤			チオファネートメチル			バリダマイシン					●

「グリーン農業総覧」2007, 2008追補版 社団法人緑の安全推進協会刊より登録部分抜粋

- 4つのスポット病害(ドレクスレラ属菌による葉枯病、ダラースポット病、カッパースポット、ベントグラスデッドスポット病)は表-1に従い出来る限り現場で見分け、分からないものに関しては病害鑑定を受けます。
- ドレクスレラ属菌による葉枯病、ダラースポット病、カッパースポットは主に茎葉に感染する病害です。一方ベントグラスデッドスポット病は地際～根部にかけて主に感染する病害です。

ドレクスレラ属菌による葉枯病は平地では 5 月ぐらいの冷涼な時期のベントグリーンに発生することが多く、一つ一つのスポットは小さいですが集まって発生し、20～30cm 程度の大きさになることが特徴です。

ダラースポット病は全ての芝草に発生する病害です。近年の少肥料傾向により、グリーン・グリーン周り・ティ・フェアウェイなどにも発生する傾向で、特に乾燥する場所で被害が激しくなります。早朝に菌糸が浮くことが特徴です。

カッパースポットはベントグリーンに発生し、窒素施肥量が多いと激しく発生する傾向にあります。気温が 26～30℃で葉が長時間濡れている時期が発病に最も適します。初期病徴は小型のブラウンパッチのように見えますが、時間が経つにつれ赤銅色でパッチ外周部が不鮮明になります。

ベントグラスデッドスポット病は主に平地では 7～9 月の新設ベントグリーンまたはインターシードグリーンに発生します。稀にリング状になりますが、主に赤味を帯びてスポット状に落ち込みます。根部がやられるため植物は萎縮し枯死します。ダラースポット病と似て見えますが色が違い、早朝に菌糸は浮きません。